

## 授業科目

## 徒手理学療法技術演習 ※臨床徒手理学療法コース

担当教員名 佐藤 成登志	対象学年	1	対象学科	保健学（理学療法学分野）
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	4	時間数	60

## 授業の概要

徒手理学療法を実施するに当たって必要な基礎技術を復習し、評価および治療における応用技術を習得します。

## 授業の目的

徒手理学療法では、より高度な徒手の技術が求められます。また自身の臨床推論の妥当性を検証する道具としても極めて重要です。この授業では運動器理学療法の基礎となる基本技術の精度を高めることを主眼に置いて演習を行います。

## 学習目標

1. 基礎的な評価・治療技術を正確に実施することができる。
2. 脊柱および四肢関節の骨関節および筋・筋膜の適切な評価が実施できる。
3. 脊柱および四肢関節のモビライゼーション、マニピュレーションおよび筋・筋膜の調整などができる。
4. 分節的不安定性の関節に対する安定化エクササイズ等の理論を理解し、実践することができる。
5. 神経由来疼痛を理解し、評価・治療を行うことができる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題
1-2	オリエンテーション、問診、疼痛評価、姿勢・動作評価
3-4	上肢の評価1（骨関節、筋・筋膜）
5-6	上肢の評価2（骨関節、筋・筋膜）
7-8	下肢の評価1（骨関節、筋・筋膜）
9-10	下肢の評価2（骨関節、筋・筋膜）
11-12	体幹の評価1（骨関節、筋・筋膜）
13-14	体幹の評価2（骨関節、筋・筋膜）
15-16	上肢の治療1（骨関節、筋・筋膜）
17-18	上肢の治療2（骨関節、筋・筋膜）
19-20	下肢の治療1（骨関節、筋・筋膜）
21-22	下肢の治療2（骨関節、筋・筋膜）
23-24	体幹の治療1（骨関節、筋・筋膜）
25-26	体幹の治療2（骨関節、筋・筋膜）
27-28	エクササイズ1
29-30	エクササイズ2

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	エビデンスに基づいた徒手療法 症状に焦点を絞った問題指向型のアプローチ	マイケル・A・セフェンジャー、総監修：高田治実、監修：佐藤成登志 他	ガイアブック	2012年	6,500円＋税	
	治療効果をあげるための自動的・他動的ストレッチ	ジェーン・ジョンソン、監修：佐藤成登志	ガイアブック	2014年	2,400円＋税	
	マイオチューニングアプローチ入門 痛みと麻痺に対する治療的技法	高田治実 他	協同医書	2009年	6,000円＋税	
	改訂第2版 骨格筋の形と触察法	河上敬介、磯貝香	大峰閣	2013年	12,000円	
その他の資料	資料の配布					

## 評価方法

実技テスト

**履修上の留意点**

実習が可能な服装の用意

**オフィスアワー・連絡先**

研究室：E102、オフィスアワー：メールにてアポイントメントをとり、面談時間を確認。  
メールアドレス：n-sato@nuhw.ac.jp